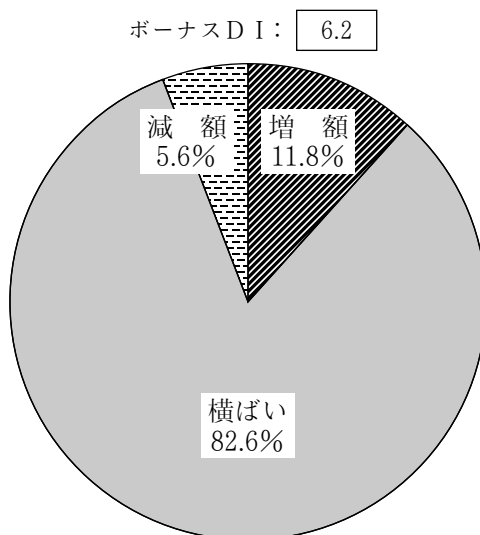


2022. **12**
No. **218**

調査レポート

2022年冬季 県内民間ボーナス支給見通し － 夏に続き増額へ －

冬季民間ボーナス支給見通し（全産業）



「第93回県内企業経営動向調査」から

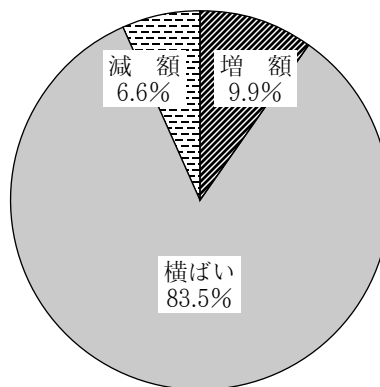
当行の第93回県内企業経営動向調査（10月上旬実施、回答企業311社）によると、今冬のボーナス支給予定額は、昨冬の支給額に対して「増額」回答先割合が11.8%（昨冬調査9.3%）、「横ばい」回答先割合が82.6%（同78.8%）、「減額」回答先割合が5.6%（同11.9%）となった。

この結果、冬季のボーナスDI（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は、6.2と昨冬（△2.6）と比べて8.8ポイント上昇し、今夏に続き2期連続のプラス（「増額」超）となった。

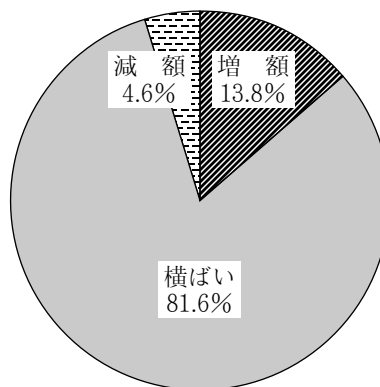
今回実施した県内企業経営動向調査によると、部品・部材不足や原油価格・原材料価格の高騰、海外経済の減速等を背景に県内企業の景況感は、悪化した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の抑制と経済活動の両立を図るなかで売上、収益など企業業績に改善がみられたほか、2022年度下期についても、ウィズコロナ/アフターコロナにおける経済活動正常化への期待などから、業況、生産、売上、収益ともに好転する見通しとなっており、先行きに対しては明るい見方がなされている。

冬季民間ボーナス支給見通し

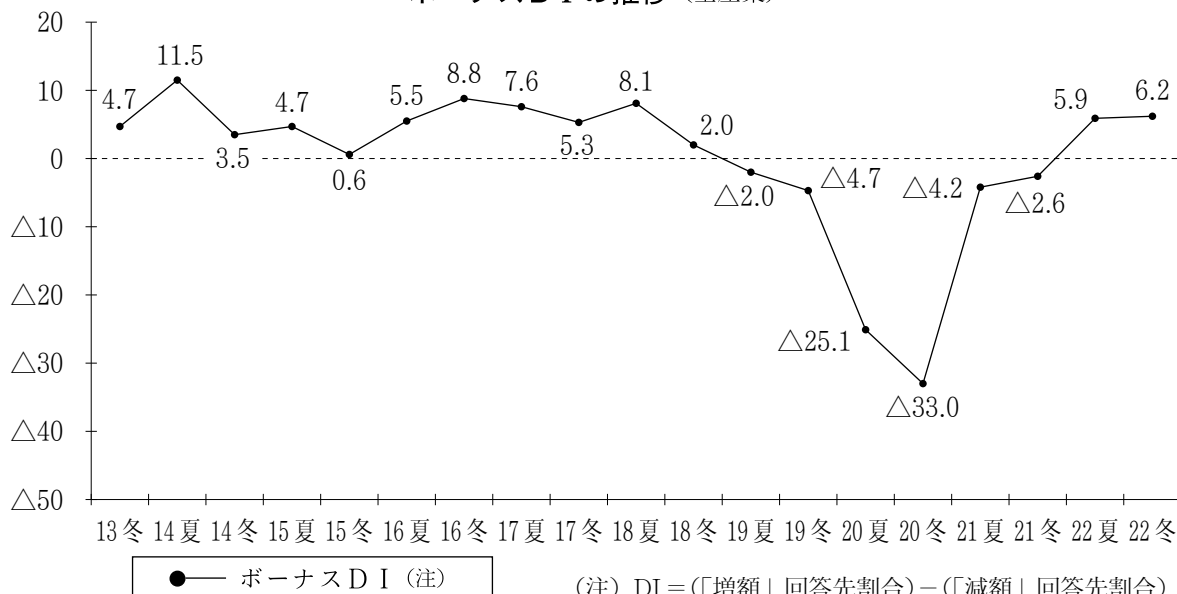
（製造業） ボーナスDI： 3.3



（非製造業） ボーナスDI： 9.2



ボーナスDIの推移（全産業）



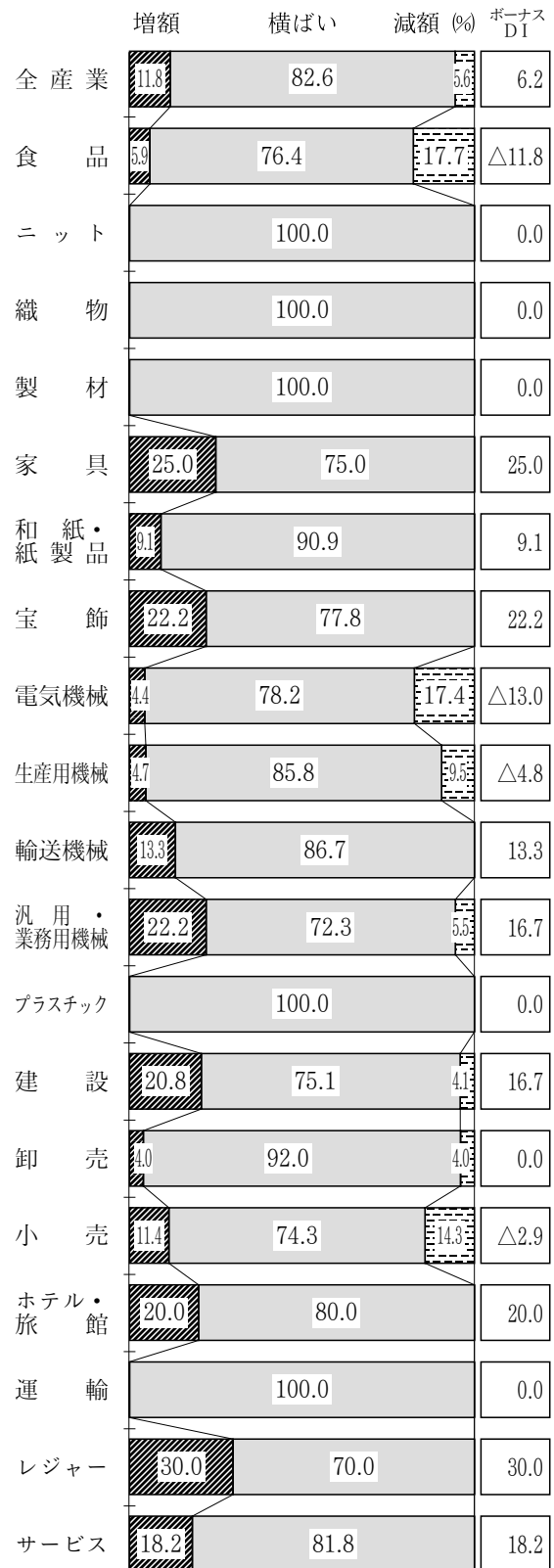
一方、雇用情勢は改善している。同調査により雇用の充足度をみると、「不足」と回答した先が2018年下期以来7期ぶりに4割を超えた。また、有効求人倍率も4年ぶりに1.5倍となるなど、県内企業における人手不足感の強まりが鮮明になってきている。

このように、企業の景況感は悪化したものの、企業業績の改善や先行きへの期待、雇用情勢の逼迫感がボーナス支給見通しに反映され、ボーナスDIがプラスに転じたと考えられる。

業種別にみると、製造業は、「増額」回答先割合が9.9%（昨冬11.3%）、「減額」回答先割合が6.6%（同10.7%）となった。この結果、ボーナスDIは3.3と、昨冬（0.6）と比べて2.7ポイント上昇し、「増額」超となった。このうち機械関連では、汎用・業務用機械、輸送機械が「増額」超となった一方、電気機械、生産用機械は「減少」超となった。機械関連以外では、家具、宝飾、和紙・紙製品が「増額」超となった一方、食品は「減額」超となった。なお、ニット、織物、製材、プラスチックではすべての先が「横ばい」と回答した。

非製造業は、「増額」回答先割合が13.8%（昨冬7.2%）、「減額」回答先割合が4.6%（同13.1%）となった。この結果、ボーナスDIは9.2と昨冬（△5.9）と比べて15.1ポイント上昇し、「増額」超に転じた。小売が「減額」超となった一方、レジャー、ホテル・旅館、サービス、建設は「増額」超となった。なお、運輸ですべての先が「横ばい」と回答し、卸売は「増額」先と「減額」先が同数となった。

冬季民間ボーナスの業種別支給見通し





山梨中銀 SDGs応援ローン

当行は SDGs の目標達成のため、
お客さまの成長・地域経済の持続的発展に
積極的に取り組んでまいります。

融資対象	以下の（１）および（２）の要件をすべて満たす法人・個人事業主のお客さま （１）当行営業エリア内において事業を営んでいる （２）「SDGs」の趣旨に賛同するとともに、「SDGs」の17目標に対して、1項目以上の具体的な施策を実施している、または実施しようとしている
資金用途	運転資金・設備資金
融資金額	1億円以内
融資形式	手形貸付、証書貸付
融資期間	手形貸付 1年以内 証書貸付 運転資金：5年以内（据置1年以内） 設備資金：15年以内（据置1年以内）
金利条件	当行所定金利
返済方法	手形貸付：元金一括返済 証書貸付：元金均等分割返済
担保・保証人	個別の審査となります

※ 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ

ふ れ あ い ハ ロ ー に
0120-201862 照会コード 9

〈受付時間〉
月曜日～金曜日 9:00～17:00
(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)